

事務事業名	真岡市芸術鑑賞会運営事業				担当	教育委員会 文化課 市民会館係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	6	文化芸術の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和58年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市芸術鑑賞会会則							
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4社会教育費	8芸術文化振興				
事業概要	会員の健全な芸術鑑賞と教養の向上を図ると共に、広く市民に鑑賞の機会を提供し、以って文化芸術の普及発展を図るため、昭和58年より活動している。 事業は、会員による年会費2,500円により運営している。 【事業内容】・映画の無料鑑賞（年7回以上）、自主事業チケットの500円割引・先行購入、都内観劇ツアー、催物案内通知							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 会員の募集・会員証の発行:会員数926人 映画上映:7回/年度 自主事業割引:4事業 都内観劇ツアー:2回 催物案内:10回/年度 31年度計画 映画上映:7回/年度 自主事業割引:4事業 都内観劇ツアー:2回 催物案内:10回/年度	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
ア:映画上映会	回	7	8	7	7	7			
イ:観客者数	人	4,122	5,101	4,058	4,446	4,600			
ウ:内会員観客数	人	3,457	4,220	3,495	3,737	4,140			
エ:									
オ:									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 芸術鑑賞会会員	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
ア:会員数	人	1,003	998	1,005	926	1,100			
イ:									
ウ:									
エ:									
オ:									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 文化芸術活動の普及振興を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
ア:会員観客数/観客者数	%	83.9	82.7	86.1	84.1	90.0			
イ:									
ウ:									
エ:									
オ:									
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 文化芸術活動に多くの市民に参加してもらい、豊かな心を育てる。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
ア:文化芸術活動に参加した市民の割合	%	15.3	15.7	16.1	14.9				
イ:									
ウ:									
エ:									
オ:									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	0	0	0	0	
			事業費計(A)	千円	0	0	0	0	
人件費			正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
			延べ業務時間	時間	250	250	250	250	
			人件費計(B)	千円	1,048	1,038	1,038	1,042	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	1,048	1,038	1,038	1,042	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	会員の健全な芸術鑑賞と教養の向上を図ると共に、広く市民に鑑賞の機会を提供し、以って芸術文化の普及発展を図ることを目的として、昭和58年4月に設立された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	昭和58年本事業開始当初は職員が上映フィルムの賃借のみだったが、来場者の要望が多様化し上映スタッフとして職員を割り振ることが困難になり、現在は上映技術込みの賃借料としている。 平成25年度、一気に映画作品のデジタル化が加速し、映写機木のデジタル化が不可欠となった。 近年のシネマコンプレックスの台頭により、映画会の事業収入が減少している。 年会費2,000円で年12回の映画会を平成12年度から年間7回以上10回以内上映することに変更した。 平成26年度から年会費を2,500円に改正し、市バスを利用した都内観劇を実施した。 平成29年度から都内観劇ツアーを年2回実施する。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	映画館で見逃した作品が身近な市民会館で上映されるので、継続して続けていてもらいたい。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 文化芸術水準の向上につながる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 芸術文化の向上に寄与している。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 文化芸術の普及を図るための支援である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 会員が文化芸術の鑑賞に努めている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 芸術文化を鑑賞する機会が少なくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は人件費のみであり、必要最小限である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 理事会の資料作成、映画上映の人件費であり、最小限の費用である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 会員はそれぞれ会費を納めている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							